

令和3年度事業計画

はじめに

前年度は、新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大に伴い、就業先での一時休業や人員の削減など、シルバー人材センターの事業にも多大な影響がありました。こうした中、高齢者を取り巻く社会状況は、政府が策定した「高齢社会対策大綱（平成30年）により、年齢にかかわらず希望に応じ働き続けることができるよう環境整備を図ることとなっており、高齢者が健康で、意欲と能力がある限り年齢にかかわらず働き続けることができる社会の実現を目指すため、本年4月より高年齢者雇用安定法の改正が施行されました。

総社市でも様々な分野でのシニアの社会参加を目指し、総社市生涯現役促進協議会を中心としたネットワーク体制を構築し、その一環として、前年度からシニアの社会参加のワンストップ相談窓口である「60歳からの人生設計所」を当センターが運営することとなり、幅広い対応ができる体制が整いました。

シルバー人材センターの事業は、元気な高齢者である会員に就業・就労の機会を提供することで、生きがいと健康、さらには生活の安定と地域社会発展の下支えを目的としていますが、企業や事業所の人手不足分野や子育て支援など、現役世代を支える分野の就業を促進するための国の補助事業である「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」にも引き続き積極的に取り組んでいきます。

令和3年度は、シルバー人材センター事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、地域社会からの期待に応えられるよう、会員・役職員一丸となり、シルバー人材センター事業の更なる発展に向けて、事業の拡大と公共の福祉増進のため以下の事業に取り組みます。

1. 基本方針

- (1)会員の拡大と地域に密着した組織体制の充実強化
- (2)安全・適正就業と新型コロナウイルス感染症対策の推進
- (3)新たな分野での就業機会の開拓・拡大
- (4)センター事業の各種PR活動の活性化
- (5)事業拡大のための講習・研修会、セミナーの開催
- (6)各種相談業務とワンストップ・サービス体制の整備
- (7)関係諸機関・団体との連携強化
- (8)財政基盤の強化と組織運営体制の整備

2. 事業実施計画

(1) 会員の拡大と地域に密着した組織体制の充実強化

- ① 様々な就業ニーズに対応するための会員拡大対策として、入会希望者に対する入会説明会の随時開催や出張開催など柔軟な対応に努めます。
- ② 女性会員比率のアップを目指し、女性に合った就業の新規開拓、セミナー・交流会の開催や自主的な組織化に積極的に取り組みます。
- ③ 入会促進策として仮会員制度の活用、「夫婦会員」「会員優待」制度の導入と、退会抑制策として「相談窓口」の設置を図ります。
- ④ 地域のシルバー応援団として、賛助会員の入会促進に努めます。

(2) 安全・適正就業と新型コロナウイルス感染症対策の推進

- ① 「安全就業基準」の遵守の徹底に努め、安全講習会・安全パトロールの実施や安全だよりの発行により、会員一人ひとりの安全意識の高揚を図ります。また、発生した事故については、安全・適正就業委員会の「小委員会」により事故発生の原因分析を図り、事故の予防に努めます。
- ② 適正で公平な事業運営のため「適正就業ガイドライン」及び「会員適正就業基準」に基づいた事業運営を実施します。
- ③ 就業等において新型コロナウイルス感染症対策に努め、その予防対策について会員に情報提供を行います。

(3) 新たな分野での就業機会の開拓・拡大

- ① ふるさと納税返礼サービスとしての「墓地清掃・空き家管理」等について事業の拡大を図ります。
- ② 育児支援、福祉・家事援助サービス事業について、対応できる態勢づくりに努め、就業開拓にも積極的に取り組みます。
- ③ 会員の資格や経験を適正に把握し、発注者に対し新規就業について提案できる体制を整えるとともに、派遣事業についても新規就業開拓に努めます。

(4) センター事業の各種PR活動の活性化

- ① センター広報紙「シルバー総社」及びPRチラシの発行、商工ニュースへの広告掲載により、会員募集と就業拡大に努めます。
- ② SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）やインターネットの活用を図り、センター事業のPR活動を推進します。
- ③ 各種イベントや社会活動に参加し、シルバー人材センター事業の普及啓発を行います。

(5)事業拡大のための講習・研修会、セミナーの開催と調査研究

- ① 就業に伴う技能や技術習得を目的とした各種講習会、研修会、セミナーを開催します。また、新規会員獲得のため、岡山県シルバー人材センター連合会が開催する講習会のPRに努めます。
- ② 発注者等に対するサービス・接遇・マナーの向上、また、個人情報の取扱いについて会員・職員を対象とした研修会を開催します。
- ③ 事業の拡大について先進的な取り組みをしているシルバー人材センターや諸団体について、積極的な調査研究を行うことで今後の事業運営に活かします。

(6)各種相談業務とワンストップ・サービス体制の整備

- ① 就業や社会参加活動に関する様々な相談について、適切な対応が取れるよう、各種相談業務の充実を図ります。
- ② 入会希望者や仮会員に対し、シルバー人材センターの各種情報等を提供し、入会に繋がるよう相談体制を整備します。
- ③ 「60歳からの人生設計所」を拠点に、シルバー人材センターが、シニアの就業や社会参加のワンストップ相談窓口として対応できるよう、その機能を強化します。

(7)関係諸機関・団体との連携強化

- ① 総社市の生涯現役促進協議会の構成団体として、全体で定期的な情報交換会を開催する中で、総社市、ハローワーク、社会福祉協議会と緊密な連携を取り、高齢者の多様な社会参加を推進します。
- ② 岡山県シルバー人材センター連合会、県内ブロック協議会と協力して研修や情報交換を積極的に行います。

(8)財政基盤の強化と組織運営体制の整備

- ① 経費と事業附帯経費等の見直しにより、長期的に安定した財源の確保を図り、財政基盤の強化を図ります。
- ② 理事会専門部会及び各専門委員会等のそれぞれの目的を念頭に置き、組織活動の活性化に努めます。
- ③ 地域班、職群班の活動を活性化し、連絡会議等の開催により、会員の意見の集約を図ります。
- ④ 公益社団法人としてのコンプライアンス遵守と、適正な業務執行を行うため、役職員の各種研修参加により、それぞれの意識改革を図り、組織及び事務局運営の資質向上を図ります。